

様式 2

2019 年度事務事業評価シート

事業番号	3-2-3	所管課	総務課
事業名	寄附者・会員の拡充	開始年度	昭和 30 年度

1 事業の概要

対象 (～に対して)	区民、篤志家
目指す姿 (～という状態にするために)	寄附及び会員会費が身近でかつ、手軽に社会貢献できる手段の一つとして区民に位置付けられるよう定着化を図る。
事業内容 (～を行う)	会費及び寄附金を受付し、地域福祉のための事業を展開する。

2 事業費の推移と財源区分

(E)平均人件費 6,000,000 円(人/年)

年度	平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	2019 年度予算
(A)事業費(円)	1,957,574 円	1,500,490 円	1,883,079 円
(B)概算職員数(人)	0.2 人	0.2 人	0.2 人
(C)=(B)*(E)人件費(円)	1,200,000 円	1,200,000 円	1,200,000 円
(D)=(A)+(C)総事業費(円)	3,157,574 円	2,700,490 円	30,863,079 円
財源区分	独自	独自	独自

3 活動指標

指標名	新規の会員登録数	項目	平成 29 年度	平成 30 年度	2019 年度
		目標値	60	90	120
定義等 (単位)	当該年度新たに会員になっただけの方(人)	実績値	239	105	
		達成度	398.3%	116.7%	

※ 指標が 2 つ以上ある場合(変更)は表を追加して下さい。

4 事業の項目別評価(分析)

項目	1 次評価	2 次評価	3 次評価
有効性	2	2	2
将来性	4	4	4
必要性	4	4	4
顧客満足度	3	3	3
総合評価	3	3	3

5 特記事項

目標値及び実績値については、正会員及び団体会員についてはデータ管理の関係で算出が困難なことから、賛助会員及び特別会員のものとしている。

6 1次(所管課)評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	<p>【会員について】            賛助会員数が昨年度比で 280 名減、特別会員は 16 名減となっており、合計の会費は 209,000 円減となった。5 年前と比較しても 91.21% (593,000 円減) で、4 年連続で減となった。            ※会員収入の詳細は別添資料参照            新規会員の獲得と併せ、既存会員の継続も大きな課題であり、広報紙「あだち社協だより」の送付を通じて社協活動を P R しているものの、特筆すべき成果には繋がっていない。            なお、指標については目標値を達成しているものの、毎年度ゼロからのカウントとなるため、次年度の目標値は実績値と乖離が生じる。            ※会費収入(平成 30 年度) 13,238,500 円(前年度比 108,800 円減)            【寄附について】            社会福祉法により募金の受配団体である本会は寄附募集ができない(受付はできる)ため、寄付金額については基本的に寄附者の寄附動機によることとなる。            社会経済状況の変動にも大きく影響を受けるものであるが、やはり本会事業の積極的な P R により、寄附への動機付けを間接的に刺激することが肝要と考える。            ※寄付金収入(平成 30 年度) 10,776,180 円(前年度比 687,352 円増)</p>		
今後の方向性	<p>会費、寄附とも社協事業の認知度に密接に関係することから、P R の機会や媒体を最大限活用し、貴重な自主財源の獲得増に向け注力していく。            加えて、プロジェクトチームの設置により新たな寄附拡大の手法を研究する等、拡大に向け検討を図る。</p>		

7 2次(幹部)評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	<p>経年において漸減傾向にあることから、拡大に向けて早急に対策に着手する必要がある。            他自治体の社協の事例を研究するなどして、高い費用対効果を見込める手法を実行に移すこと。</p>		

8 3次(外部評価委員会)評価

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	<p>会費収入等の実績からも社協事業に対し、一定の理解、賛同は得られているものと評価できる。一方で、件数については減少傾向にあるため、賛同者獲得に向けた対策が必要である。「子どもの福祉」「高齢者の地域生活支援」「障がい者の社会参加」など使い途が指定できるよう検討すること。加えて、正会員、賛助会員、団体会員、特別会員の会員区分について、賛同者にとって位置付け等が分かりづらい部分があるため、会員区分の整理及び他部署で実施している会員制サービスの会員との統合など、会員制度の刷新を期待したい。</p>		

9 3次評価(実施していない場合は2次評価)を踏まえた今後の方針

方針	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由等	<p>           用途を明確にすることでより貢献度が認識され、寄附動機に繋がるため、寄附金については指定寄附として、「高齢」「障がい」「児童」福祉のためにといった受入れを行っている。一方で会費については本会の目的に賛同した位置付けとしているため、広く本会事業に活用させていただいている。会員の区分整理等と併せて、より区民等に理解、協力が得られるよう検討を進める。         </p>		